

科目名	西洋音楽史 A, C	形態	講義	開講期	春・秋
担当教員	森本 頼子	単位	2	年次	1

＝授業科目の目標＝

現代に至るまでの西洋音楽の歴史を学びます。各時代の歴史背景や音楽文化について把握したうえで、代表的な音楽作品について学び、時代ごとの音楽様式の特徴やその変遷を具体的に理解します。

＝履修の条件と学習の方法＝

テキストと配布プリントをもとに、予習復習をしてください。授業では、音楽鑑賞の時間を多く設けるため、私語は厳禁です。また、リスニング問題も試験に課すため、授業で取り上げた音楽作品は、授業外でも聴くようにしてください。

＝授業内容＝

- 1回 ガイダンス（講義の目標や内容の確認）、時代区分について
- 2回 中世の音楽
- 3回 ルネサンスの音楽（1）ブルゴーニュ楽派、フランドル楽派
- 4回 ルネサンスの音楽（2）宗教改革と音楽、その他
- 5回 バロック音楽（1）声楽
- 6回 バロック音楽（2）器楽
- 7回 バロック音楽（3）J. S. バッハとヘンデル
- 8回 中間試験、古典派の音楽（1）ハイドン
- 9回 古典派の音楽（2）モーツァルト
- 10回 古典派の音楽（3）ベートーヴェン
- 11回 ロマン派の音楽（1）初期
- 12回 ロマン派の音楽（2）中期
- 13回 ロマン派の音楽（3）後期
- 14回 近現代の音楽（1）19世紀末から20世紀初頭の音楽
- 15回 近現代の音楽（2）20世紀の音楽
- 16回 期末試験

＝成績評価の方法と評価の基準＝

中間試験と期末試験の成績に加えて、出席状況や受講態度から総合的に評価します。毎回、出席確認を兼ねたコメントシートを提出してもらいます。

＝テキスト（必携）＝

『増補改訂版はじめての音楽史——古代ギリシャの音楽から日本の現代音楽まで』音楽之友社、2009年。ISBN：9784276110168。その他に、毎回プリントを配布するので、必ずファイリングして保管してください。